



VOL.158  
FEB.2011

# かしわら市議会だより

第 158 号  
平成 23 年 2 月  
発行 柏原市議会  
編集 市議会だより編集委員会  
柏原市 安堂町1番55号  
電話 972-1501(代表)  
F A X 971-8932  
Eメール gikai@city.kashiwara.osaka.jp



平成22年第4回定例会は、11月30日から12月24日の25日間の会期で開会いたしました。今定例会では個人質問制により、12月13日、14日の両日に、市長から提案された議案に対する質疑及び市政全般についての一般質問を14名の議員が行いました。2ページから6ページには各議員の質疑・質問の要旨を掲載しております。

## 大和川の雪景色

|               |            |             |             |             |                |              |         |             |             |         |             |             |                   |                   |            |       |              |                  |
|---------------|------------|-------------|-------------|-------------|----------------|--------------|---------|-------------|-------------|---------|-------------|-------------|-------------------|-------------------|------------|-------|--------------|------------------|
| 30日           | 29日        | 26日         | 25日         | 22日         | 17日            | 16日          | 15日     | 12日         | 11日         | 10日     | 9日          | 8日          | 5日                | 4日                | 2日         | 11月   | 平成22年(2010年) | 議<br>会<br>日<br>誌 |
| 明)            | 会          | 会           | 市議会だより編集委員会 | 幹事長会議       | 大阪府市議会議長会議員研修会 | 中部市議会議長会定例会  | 議員研修会   | 農薬委員会       | 大阪府市議会議長会総会 | 防組協議会   | 給食組合議会      | 柏羽藤環境事業組合議会 | 決算特別委員会           | 決算特別委員会           | 近畿地方治水大会   |       |              |                  |
| 30日           | 29日        | 26日         | 25日         | 22日         | 17日            | 16日          | 15日     | 12日         | 11日         | 10日     | 9日          | 8日          | 5日                | 4日                | 2日         | 11月   |              |                  |
| 定例会本会議(議案説明)  | 柏原市総合計画審議会 | 柏原市都市計画審議会  | 市議会だより編集委員会 | 幹事長会議       | 大阪府市議会議長会議員研修会 | 中部市議会議長会定例会  | 議員研修会   | 農薬委員会       | 大阪府市議会議長会総会 | 防組協議会   | 給食組合議会      | 柏羽藤環境事業組合議会 | 決算特別委員会           | 決算特別委員会           | 近畿地方治水大会   |       |              |                  |
| 19日           | 18日        | 14日         | 12日         | 7日          | 1月             | 平成23年(2011年) | 24日     | 22日         | 20日         | 17日     | 16日         | 14日         | 13日               | 10日               | 2日         | 12月   |              |                  |
| 中部市議会議長会議員研修会 | 行政視察(熊取町)  | 市議会だより編集委員会 | 農業委員会       | 市議会だより編集委員会 | 市議会            |              | 長報告・採決) | 定例会本会議(各委員) | 建設産業委員会     | 市民福祉委員会 | 総務文教委員会現地視察 | 市議会だより編集委員会 | 定例会本会議(議案質疑・一般質問) | 定例会本会議(議案質疑・一般質問) | 柏原市総合計画審議会 | 農業委員会 |              |                  |

**危険な通学路への  
緊急対策を！**



市民・民主クラブ  
鶴田 将良

**問** 昨年11月に登校中の小学1年生の児童が、市道交差点で右折中の車に巻き込まれるという、死亡事故が発生した。このような悲惨な事故を再び起こさないために、あらゆる対策が急務であり、柏原小学校付近の交通安全対策につい

て問う。

**答** 柏原小学校では、教職員、児童、PTAが安全マップを作成し、全児童に配布、交通安全指導を行ってきた。また、PTA、健全育成会や地域有志による登下校安全見守り活動も進めてきた。このたびの事故に遭われた児童のご冥福をお祈りするとともに、臨時全校集会で安全な登下校の指導を行い、スクールカウンセラーによ

る心のケアも継続して行ってきた。さらに保護者集会を開き、学校とPTAで、登下校の形態や黄色帽子の着用検討、より多くの保護者による見守りの体制づくりなどの意見が出された。今後児童には、交通安全指導の取り組み強化の一助として、毎月1回一斉下校指導を行い、全校集会や各学級での交通安全指導を徹底する。

**問** 慢性的な国道25号の渋滞が交通事故発生の原因であり、その対策について問う。

**答** 慢性的な国道25号の渋滞で、狭い住宅街への進入路が迂回経路となり、交通死亡事故につながったものと考えられる。国道25号は、交通バリアフリー基本構想の特定経路として歩行者の安全確保策を講じてきた。さらに、交通量を減らすTDMすなわち交通需要マネージメントで交通渋滞緩和策を

実施し、国道25号の渋滞解消なくして柏原市の発展はありえないという決意で今後も整備に取り組んでいく。

**要望** 国道25号の渋滞緩和策を講ずることが急務であると同時に、さらに重大な教訓として、この事故を忘れてはならない。再発防止策として、柏原市全体で多くの保護者が参画し、具体策を早急に確立するよう要望する。

**事業仕分けについて**

市民の会  
藤森 洋一



**問** 1月に公開ヒアリング、そして6月に事業仕分けが行われたが、今後どのようにする考えか問う。

**答** 今後の公開事業仕分けの実施については、今回一定の方向が示されたものと判断し、当面開催は

考えていない。

今後、「柏原市行財政健全化戦略」に基づき、事業の必要性等を検討していく。

**要望** 事業仕分けを当分行わないというのは、中司氏が議長を退職したからか。本人は、事業が一段落したので退職したが、そんな状況ではないはずである。

こちらから辞めていただきたいと、言うべきところだと思ってい

る。中司氏を採用するのは、私は最初から反対であった。また、部長による公開ヒアリングを行うのも反対であった。

公開ヒアリングの際も、消防のポンプ車購入の件を入れたのはおかしい。大きな火災や地震が起きた時はどうするのか。ヒアリングでは小型自動車購入ということに決まっていた。しかし、結局、今回の補正予算でポンプ車の購入

が提案されたので安心した。また、公開ヒアリングで4億8000万円程度削減したと言っているが、ほとんどの事業が先送りとなっている。庁舎施設整備事業費2億5000万円強をここに入れて、それで4億何千万円削減したとされているが、これもおかしい。いずれはしなければならぬ事業だが、今ここに入れる必要があるのか。

それから、6月の事業仕分けのメンバーに東大阪市議会議員、八尾市職員が入っていた。八尾市議会の議員から連絡があり、柏原市議会の議員はこの件について怒っていないのかと聞かれた。他市から見ると、柏原市には事業仕分けができる人材がいらないと思われる。今後、事業仕分けは柏原市のことをよく知っている市民の方で、継続されることを要望する。

**前本会議での  
市長発言について**

市民の会  
濱浦 佳子



**問** 前まちづくり戦略会議議長中司氏について、先の第三回定例会の本会議における市長発言を知らない方もおられるので、その発言内容について改めて問う。

**答** 戦略会議議長は、去る11月19日に退職した。夢のあるまちづ

くりの実現、効率的な行財政運営、小さくてもきらりと光るまちづくりの創造を目標に、予算公開ヒアリング、柏原版事業仕分けおよび内部の仕分けの実施に幅広い人的ネットワークの利用や情報収集の中心的役割を担っていた。また、市長発言について答弁を求めたが、答弁がない。

二審有罪が決定すれば、市長も責任をとるべきで、使われた報酬

は市民からの貴重な税金であり、市長が返済すべきと言った。そのときの答弁が「議員から議決をもらって就任していただいている。有罪やったら責任をとれと、今日から辞めますがな。有罪でなかったも今日辞めます。だからどうぞ皆さん、不信任を出してください。」である。

議会で辞めると発言されたことは重い。大切な議案の審査もある

ので定例会終了後、決断されたい。市長の気持ちを問う。

**答** 解釈のとりようだが、今すぐ辞めると言ったのは不信任案が議決されたらということである。そのときに辞めることを考える。また、中司氏の名譽を守るために言うが、多大なる実績をこの一年で残された。その功績は非常に大きいと思う。

**問** 辞めると言われたその言葉

の重みを言っている。辞めたくないのだったら、自分から辞めると言わずに、最初から議員から不信任案を提出してほしいと言ったべきである。都合のいい解釈である。辞めるといふのは単なるジェスチャーで辞めたくないのだと思うが、

**答** 辞めるといふ前提は不信任案が提出され、可決されたらということである。私から選任の責任をとるつもりはない。

## 柏原市の企業・産業

振興について  
自由民主党政新会  
乾 一



問 企業・産業振興の取り組みや施策について問う。

答 長引く景気低迷の中、11月11日から13日にかけてサンヒル柏原を会場として「ものづくりフェア in 柏原2010」を開催した。この事業は、市内でつくられた



ものづくりフェアの様子

製品や地場産品を展示、紹介することで参加企業の販路拡大や地場産業の振興を目的とするもので、参加企業は伝統工芸から最先端技術まで市内40社以上にのぼり、盛大に開催することができた。

また、大阪府などの信用保証付き制度融資で開業資金融資を受けている新規創業企業に対する経営支援として「利子補給」も行って

いる。一方、柏原市商工会へ地域製品や地場産品を展示、紹介することで参加企業の販路拡大や地場産業の振興を目的とするもので、参加企業は伝統工芸から最先端技術まで市内40社以上にのぼり、盛大に開催することができた。

また、大阪府などの信用保証付き制度融資で開業資金融資を受けている新規創業企業に対する経営支援として「利子補給」も行って

## 関電道路の大型ダンプの通行について

柏原維新の会  
大坪 教孝



問 先の9月議会でも、大型車の通行規制がされている関電道路を、大型ダンプが通行することについて質問をしたが、その後、柏原警察署と、どのような協議をされたのか問う。

答 通行許可時間外の早朝に違

反車両があったことから、取締りとパトロールの強化をお願いした。大型ダンプの処分場へのルートが市への申請ルートと違っていても、警察の判断でやむをえない理由として通行許可証が発行される。

問 この道路の幅員はいくらか。  
答 約5・5mで、通行区分はその半分として2・75mである。  
要望 大型ダンプの車幅は2・5mあるので、普通に真つすく走



対向車線にはみ出す大型自動車

っていつばいっばいであり、電柱などがあれば、当然はみ出して通行することになる。

この道路は、急カーブが何か所もあり、大型ダンプがどのように通行しているか、状況を把握しているのか、また、旧国道170号からオアシスまで市の循環バスも運行しているが、この大型ダンプと対向できるのか。周辺住民だけでなく、他の通行車両にも影響を

与えている。

こつという危険な状況にもかかわらず、警察署が通行許可証を発行するのはどういふことか。事故が起きた時、道路管理者である市の責任問題に発展しないのか、本当にこのままいいのか疑問に思う。また、大型ダンプの通行問題も含め、この東山に残土処分場を次々許可することについても、疑問に思う。今後調査してほしい。

## 下水道未整備

地域の対策

公明党  
堅木 照久



問 公共下水道整備状況と今後の進め方について問う。

答 公共下水道整備第5次五箇年計画に基づき、汚水整備は平成22年度末の整備目標(人口普及率80%に対し、約79・3%となる見込みで、概ね目標を達成できる。

各排水区の本年度末の人口普及率は、柏原東排水区で約88・8%、柏原西排水区で約73・9%、国分排水区で約75・5%となる。今後の進め方として、平成23年度以降は財政状況、道路状況など勘案し、新たな整備目標を定め、現在第6次五箇年計画を策定中である。

問 第5次五箇年計画に入っていた地域で、整備できなかった地域があるのか問う。

答 当初計画に入っていた地域で、道路の幅員や地下埋設物の移設、私道の承諾等の諸条件により、整備できなかった地域がある。今後は課題を解決し、できるだけ早い時期に整備を進めるよう計画していく。

要望 整備できなかった地域も第6次五箇年計画に入れ、優先的に整備するよう要望する。  
問 下水道普及率を上げ、市民



下水道工事の様子

の待ち望んでいる水洗化を進めることは、公共事業による地域の景気対策にもなるので、積極的な下水道普及率向上を図れないか問う。

答 鋭意取り組んでいる。普及率80%を目指し、早急に下水道完備を行う。堅上地域の合併式浄化槽の設置も含めて、最優先して下水道整備を行っていく。  
要望 市民が待ち望んでいる水洗化の早急な実現を強く要望する。

## 充実した 幼児教育を！

柏原維新の会  
奥山 渉



**問** 幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて大切な時期である。幼児期における教育が、その後の人間としての生き方を大きく左右する重要なものであると考える。幼児教育に対する考えを問う。

**答** 平成21年3月に生活とまなびの幼小カリキュラム「あんじょう」を制定し、各園で実践・研究を進めている。教育内容の充実のために、さまざまな取り組みを行っているが、園児数の減少に歯止めがかからず、現在一園が休園し、今後更なる休園が見込まれている。今後については、「幼児教育審議会」に諮問し、公立幼稚園の統廃合も視野に入れた再編・整備を進

めていく。  
**問** 公立幼稚園が定員割れを起こしている現状について問う。  
**答** 市内全体の幼児数の減少と保護者のニーズの多様化が大きな原因と考えている。  
**問** 市民ニーズの中において、地域の幼稚園の存続を望む声が多いが、教育委員会の考えを問う。  
**答** 「柏原市立幼稚園の適正配置について」の答申の中、「望

ましい保育が濃密に展開できる」ための最低人数として「15人を下回ることはない」という基準が示されている。少人数学級は教育的効果においても課題が多いと考え、この答申に基づいた運営を行っている。  
**問** 1年でも早く幼児教育を受けさせたいという保護者の声があるが、3年保育についての考えを問う。

**答** 3年保育のニーズに対しては、市立幼稚園では特認園であり、市内どこからでも通園できる堅上幼稚園で行っている。また、市内の私立幼稚園2園でも実施していることから、全ての公立幼稚園で実施する必要はないと考えている。  
**要望** 今後において、市立幼稚園の再編等の協議が進められるのなら、市民ニーズに合致した検討をするよう要望する。

## 介護保険料・ 利用料の軽減を

日本共産党  
橋本 満夫



**問** 介護保険料・利用料の軽減について問う。

**答** 低所得者の負担軽減については、相互扶助の観点から、客観的かつ適切に実施していく。

**要望** 介護保険制度が施行されて10年が経過した。「介護を社会的

に支える」ことを目的に発足した制度である。しかし、重い介護保険料や利用者負担、42万人にのぼる特別養護老人ホームの待機者など、「保険あつて介護なし」とも

いっべきさまざまな問題が表面化している。日本共産党国会議員団の調査からも、利用者負担については、「サービス利用を抑制している人が7割を越えている」ことが明らかになった。原則1割の利

用料や2005年10月から導入された食費・居住費の全額自己負担化が、低所得の高齢者・家族に深刻な影響を与えている。高齢者に

利用したサービスの1割を応益負担として課す介護保険制度の矛盾が浮き彫りになっている。  
大阪府下でも、吹田市・豊中市・松原市・富田林市などでは、低所得者に対し、利用者負担の独自減免がされ、吹田市では、382

4人の方が減免されている。柏原市でも利用者負担の減免制度が必要である。柏原市の介護保険料は、大阪府下で上から4番目に高い保険料である。多くの自治体には独自の減免制度があるが、平成21年度では、柏原市の減免者数は26人、

豊中市は580人、堺市は685人、松原市は422人である。当然人口の違いはあるが、なぜこんなに人数的な違いがあるのか。そ

れは、柏原市の減免制度の条件が生活保護と同等の基準に設定されているからで、自治体により年収金額の違いがある。先にあげた市では、預貯金350万円まで認められ、不動産所有の要件もない。是非とも柏原市でも低所得者に対しての保険料の軽減に取り組みよう要望する。また、国に対しては、

国制度で保険料・利用料の減免制度を確立するよう要望されたい。

## 事務事業評価及び 来庁者アンケートについて

自由民主党政新会  
田中 秀昭



**問** 各部署が、市民サービスの向上を目指し、自己点検の観点から事務事業評価を行っているが、市民からの評価である来庁者サービスアンケートの結果にも、しっかりと対応することが重要であると考えている。

今年度のアンケートの結果を見ると、市民の皆さまからの高い評価が定着しつつあると理解しているが、個別に見ると昨年より評価の下がった部署、また苦言も寄せられている。このような評価結果を、どのように市民サービスの向上につなげていくのか問う。

**答** この評価結果については、庁議の場での報告に加え、庁内掲示板に掲載し、全職員に周知する



来庁者サービスアンケートを実施

ことで、今後の対応の検討に役立っている。特にお叱りの意見に関しては、当該部署に直接伝え、注意喚起や対応の改善を図っているほか、全職員が配慮すべきと思われる事項は、評価結果と併せて周知し、情報の共有を図っている。

また、項目別に低い評価であった部署は、その原因を検証し、今後の対応に活かしていく。今年度も総合評価では5点満点中4・2

点と高い評価をいただいているが、その中で寄せられた厳しいご意見を真摯に受け止め、さらなる市民サービスの向上に努めていく。

**要望** 市民の皆さまの貴重なご意見は、市民サービスの向上には不可欠である。低い評価や苦言については、その原因を真摯に受け止め、検討し、さらなる市民サービスの向上を目指して、改善を進めるよう要望する。

## 学校給食の拡充を

日本共産党  
山本 真見



問 中学校給食の実施の進捗状況を問う。

答 藤井寺市と柏原市の両市で実施に向けて検討組織を年度内に立ち上げるために調整中である。

問 食物アレルギー児童への対応について問う。

答 保護者より相談があれば組織的に対応している。

要望 現在、中学校給食の完全実施率が全国で約75%、大阪府の中学校給食の実施率は最下位の8%となっている。9月に行われた大阪市教育委員会のアンケートでも保護者の8割が賛成をしている。給食のない夏休みに体重が減る小学生の子どもがいるという現実も踏まえ、中学校での給食は緊

急の課題である。

給食は栄養のバランスが良く、育ち盛りの子どもにとって十分なエネルギーを与える。また一緒に食事をする事で、子どもの生きる力となり、体だけでなく、心もはぐくむこと、子育て支援、働く女性の支援になることなど、多くの効果があり、待ち望まれている。早く実施に向け進めてほしい。

また、食物アレルギーで複数の

アレルギーがある子どもは、給食実施日の2割の日しかおかずを全部食へることができない。8割の日には食べられないおかずが複数ある。ほとんど食べられない日はお弁当を持参ということにもなる。

保育所は、除去食が行われている。乳製品のアレルギーのある子どもは、デザートプリンをゼリーに替える。卵アレルギーの人も食べられるよう、練り製品やハム

・ソーセージの加工品は卵白を使っていないものを使用するなど、できることから取り組んでいた。食物アレルギーのため

にみんなと同じものが食べられないということが、子どもたちにとって、とても大きなプレッシャーとなり、ストレスとなっている。アレルギーがあっても楽しい学校生活がおくれるよう、除去食・代替食を取り入れるよう要望する。

## 人にやさしい安全で安心な道路づくりについて

公明党  
計盛 佐登子



問 昨年の11月、市道本郷5号線と33号線の交差点において、通学途中の子どもが乗用車にはねられ、亡くなれるという悲惨な事故が発生した。また、同じ市道本郷33号線において近所の女性の方が、官民境界表示にあった穴に足

を取られて、左大腿骨及び左腕骨折の大きさをされるといふ事故が発生した。

市として「人にやさしい安全で安心な道路づくり」にどのような取り組みをされているのか問う。

答 本市が管理している市道は、総延長約200kmあり、通行する歩行者や車両が安全に通れるよう、常時、パトロール班を編成し、管理体制をとっている。白線などの

道路標示線が消えていないかとか、比較的小さな路面の状況についても、凹凸が生じていないかなど、点検や軽易な補修に鋭意取り組んでいる。特に道路標示線などの消滅については、市内各所で数多く行われる道路占有者の工事起因したものもなくすために、定期開催の柏原市道路工事連絡協議会において、徹底したいと考えている。また、柏原郵便局と、道路の通行

障害・損傷等の情報提供に関する業務協定を結び、道路の損傷などを発見した場合、通報をいただき、速やかに安全措置を実施するなど、安全・安心な道路づくり、鋭意取り組んでいるところであるが、今後さらに充実していきたいと考えている。

問 子どもが安全に通行できるように路側部分と車道との区別をはっきりするため、路側部分に緑がと、いろいろな角度からの連携などを考えていただきたいと思います。体調が悪くて柏原病院へ来ているのに、長時間待たなくてはならないのが現状である。

例え、市内の処方せん薬局の薬剤師の方に協力を願ひ、日替りや時間で柏原病院にセルフメディケーションコーナーの相談窓口を設け、対応していただく。薬剤師の方と医師との間の連携が必

## セルフメディケーションについて

市民・民主クラブ  
岸野 友美子



問 セルフメディケーションとは、自分自身の健康に責任を持ち、軽い不調は自分で手当てすることとWHOで定義つけられているが、市としての取り組みを問う。

答 本市では、健康かしわら21において7つの目標を掲げており、

そのうち病気の予防の一つとして、セルフメディケーション同様、かかりつけ医制度や、かかりつけ薬局制度を推進している。

問 今後、具体的にどのようなことができるのか。

答 健康に関心を深めてもらい、健康に関する正しい知識の普及のため、保健師による出前講座や健康教室などでわかりやすく説明し併せて、情報提供や啓発に努める。

要望 アメリカで10年前から行われている健康管理プログラム（アシッシュビルプロジェクト）で、市の職員に薬剤師によるカウンセリングを義務付けて医療費の支出を6割も減らした実績がある。

日本で取り組むには、解決すべき問題がたくさんあるが、市として検討し、予防医学の面は健康福祉課が、医療費の削減は保険年金課が、診察の待ち時間短縮は病院

要であり問題もあるが、実現すれば診察の待ち時間が大幅に短縮できる。

早い診察が必要な方と薬剤師のカウンセリングで解決できる方との調整をすることで、よりスムーズな病院運営が出来るのではないかと考える。健康福祉課、保険年金課、そして病院の庁内連携を併せて検討していただけるよう要望する。

美しいまち柏原について  
会派に属さない議員  
石橋 實



問 「美しいまち柏原」について、第1回定例会の市政運営方針に対する質問で、市が市民ボランティアの方々といろいろな施策を進められている中で、自分が働いているまち「柏原市」を美しくするために、市職員による清掃活動

の実施を要望したが、どのように計画されているのか問う。

答 今回、市職員の自主的参加により、12月25日の土曜日にJR柏原駅、JR高井田駅、近鉄国分駅の3駅周辺の清掃活動を実施する。

問 12月の第3もしくは第4土曜日を職員のボランティアデーと決め、定期的に清掃活動を実施してはどうかと考える。



柏原駅前での清掃活動

また、このことがきっかけとなり、予定されている「亀の瀬地すべり跡地」の整備事業も、本来の意味で市職員と市民が一体となって協働で、整備することができると思う。

職員のボランティア参加は強制できないが、意識改革という意味からの評価について問う。

答 市内美化活動ということであれば、職員組合等で年に何回か

活動を行っている。

また、亀の瀬や留所山などで草刈り・植樹などのイベントに対しても、市民の方々に参加いただいているが、たくさん市の職員が積極的に参加している。

今後、さらに充実させていきたいと考えている。

要望 ボランティア参加により市職員同士の交流が図られる。ぜひともお願いする。

『元氣部』の新設を！

公明党  
中村 保治



問 「健康づくり」について問う。  
答 国民健康保険の保健事業として、特定健康診査・特定保健指導・人間ドックの充実をより一層推進することによって、被保険者の健康の保持に努め、医療費の抑制にもつなげていきたい。一方、

市立柏原病院では、市民公開講座や糖尿病教室を開催、そして人間ドックの拡充として受診枠の増だけでなく、検査項目の拡充や健診結果表の充実、また、検査で異常が発見された場合の本院への受診案内や他院への紹介等、受診後のフォローを行うなどしている。

介護予防については、特に認知症予防について、「物忘れ予防教室」やボランティアによる「物忘

れ予防サロン」等が開催されている。さらに多くの市民の皆さまが、自主的に健康づくりや介護予防の活動に取り組んでいただける環境を作っていく。そして、保険年金課、高齢介護課、健康福祉課等、それぞれの課が行っている保健事業を連携してできた「セレクトウエルネス柏原」を推進しながら、実施回数、会場および対象者の拡大を図っている。そして、「自分

の健康は自分でまもる」をスローガンに、食事に気をつける、適度な運動をするなどの一次予防を重点に市民の皆さまの主体的な参加を促し、住民参加型の事業の実施、新たな参加者を対象とした「楽しみながら健康度をアップする教室」等の企画運営を図り、市民のニーズを反映できるような保健事業や健康教室などの事業を展開し、推進していく。

要望 今後の健康づくりの方向性であるが、NPO団体、大阪教育大学、関西福祉科学大学、市民の皆さまが、行政の協力のもとで取り組んでいただくためにも、現在の保険年金課、高齢介護課、健康福祉課を統合して、健康福祉部から『健康部』もしくは『元氣部』を立ち上げていただき、一つの部として取り組んでいただくことを要望する。

議員欠員に伴う委員の変更について

昨年11月30日に行われました第4回市議会定例会（第1日）におきまして、常任委員会、特別委員会、議会議選出の派遣議員・委員の一部が変更になりました。新たに選任、選出された議員は次のとおりです。なお、総務文教委員会および建設産業委員会は、それぞれ1名欠員となっております。

- |                |      |       |
|----------------|------|-------|
| 総務文教委員会        | 副委員長 | 中野 昭也 |
| 広域行政特別委員会      | 副委員長 | 大坪 孝昭 |
| まちづくり特別委員会     | 委員長  | 大坪 孝昭 |
|                | 副委員長 | 中野 昭也 |
| 長瀬川沿岸下水道組合議会議員 | 副委員長 | 田中 秀昭 |
| 柏羽藤環境事業組合議会議員  | 副委員長 | 田中 秀昭 |
| 柏原市都市計画審議会委員   | 副委員長 | 田中 秀昭 |

議員研修会を開催いたしました

昨年11月15日に、東京財団研究員で、元北海道栗山町議会議務局長の中尾修氏をお招きし、政務調査費を利用して、「全国に広がる地方議会改革」と題した議員研修会を開催いたしました。議会改革の背景、住民との直接対話（議会報告会）の意義、議会基本条例、議事事務局の役割、議会改革と地方分権についてなどの講義を受け、全国で初めて議会基本条例を制定した、栗山町議会での議会報告会の実際の映像を見ました。同氏より、議会改革には議会報告会と議会基本条例が非常に重要な手段であることを学び、各議員より多くの質問が行われ、活発な議論が展開されました。



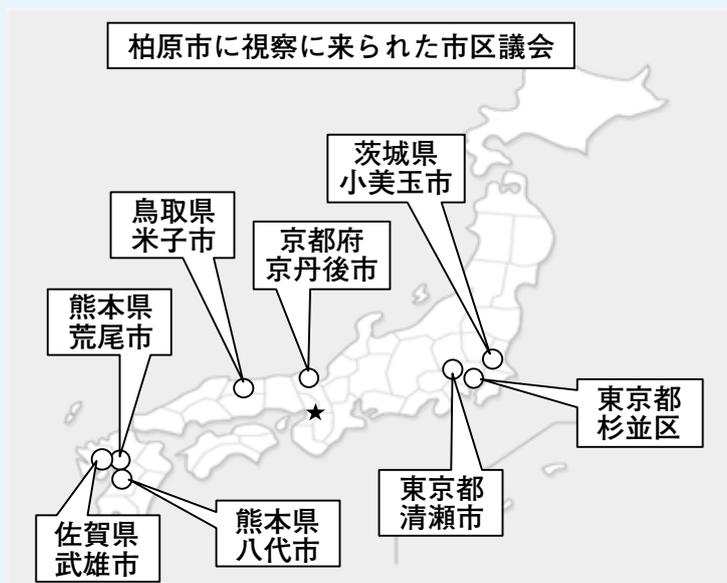
## 全国からの視察受け入れ状況（平成22年）

毎年全国各地市町村の議員、会派および委員会が柏原市の施策を視察に来られています。

平成22年中には8市区から先進都市視察に来られました。

### 視察案件

- スタディ・アフター・スクール【八代市、杉並区、荒尾市】
- 柏原版事業仕分け【荒尾市】
- 議員定数【小美玉市、清瀬市】
- 常任委員会複数所属、議会報告会【小美玉市】
- 防犯灯LED化事業【米子市】
- 幼小中一貫教育、堅上小中一貫教育、小規模特認校【京丹後市】
- 予算公開ヒアリング、市内循環バス事業【武雄市】



## 本会議・委員会を傍聴しませんか

本会議・委員会開会当日、受付にて受付簿に住所・氏名等を記入するだけで簡単に傍聴できますので、お気軽にお越しください。

なお、一般傍聴者の定員は、本会議20名、委員会10名です。

傍聴の詳しい方法やわからない点等がありましたら、議会事務局972-1501（代表）内線3113・3114までお問い合わせください。

第1回定例会（3月議会）の開催予定は次のとおりです。

### 第1回定例会（予定）

| 月 日           | 会 議 名   | 内 容                |
|---------------|---------|--------------------|
| 2月23日(水)      | 本 会 議   | 市政運営方針演説、議案説明      |
| 3月10日(木)      | 本 会 議   | 市政運営方針に対する質問及び議案質疑 |
| 11日(金)        | 本 会 議   |                    |
| 14日(月)        | 本 会 議   |                    |
| 15日(火)        | 本 会 議   |                    |
| 17日(木)・18日(金) | 総務文教委員会 | 付 託 議 案 審 査        |
| 22日(火)・23日(水) | 市民福祉委員会 |                    |
| 24日(木)・25日(金) | 建設産業委員会 |                    |
| 30日(水)        | 本 会 議   | 各委員長報告、採決          |

※いずれの会議も午前10時からです。 ※日程は変更する場合があります。

## 陳 情 等

○2011年度予算および施策についての要望

○公立幼稚園での三歳児の受け入れの実施についての要望

柏原市公立幼稚園三歳児保育を考える会  
 以上の陳情は、理事者送付となりました

○「所得税法第56条の廃止」を求める意見書採択を求める要望

○国ないし地方自治体における公契約条例、公契約法を求める要望

河内の地方政治をよくする会  
 河内の地方政治をよくする会

○選挙権の年齢引き下げを求める要望  
 河内の地方政治をよくする会  
 柏原労働組合総連合  
 以上の陳情は、議長預かりとなりました

## 表紙写真募集中

テーマは『春』です。市内で撮影したものに限りです。

〒582-8555 柏原市安堂町1番55号 または

gikai@city.kashiwara.osaka.jp

議会事務局までご応募ください。

※平成23年3月11日（金）必着

※ご連絡先、氏名を必ず明記してください。

## 現地視察を行いました

関係各位におかれましては、大変お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。



サンヒル柏原にて

平成22年12月16日に総務文教委員会が、柏原市健康保養センター「サンヒル柏原」を訪問しました。  
当日は、施設内を案内していただき、各委員が熱心に見学しました。

## 総務文教委員会



心身障害者福祉センターにて



大阪「好意の庭」にて

平成22年12月17日に市民福祉委員会が、柏原市立心身障害者福祉センターと特別養護老人ホーム大阪「好意の庭」を訪問しました。各委員が積極的に質問を行い、施設内を見学しました。

## 市民福祉委員会

## 12月議会で決めたこと

- ◇平成21年度柏原市一般会計歳入歳出決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市国民健康保険事業特別会計(施設勘定 堅上診療所)歳入歳出決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市柏原駅西口地区市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市市立柏原病院事業決算の認定について
  - ◇平成21年度柏原市水道事業決算の認定について
- 以上、認定**
- ◇専決処分報告(損害賠償の額の決定及び和解について) **報告**
  - ◇公平委員会委員(大崎信有氏)の選任につき同意を求めることについて **同意**
  - ◇議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について
  - ◇公の施設(柏原市立市民プラザ)の指定管理者の指定について
  - ◇公の施設(柏原市立柏原南コミュニティ会館)の指定管理者の指定について
  - ◇中河内地域広域行政推進協議会の廃止に関する協議について
  - ◇大阪広域水道企業団を組織する市町村数の増加及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について
  - ◇一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
  - ◇柏原市立自立支援センター条例の一部改正について
  - ◇平成22年度柏原市一般会計補正予算(第6号)
  - ◇平成22年度柏原市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)
  - ◇平成22年度柏原市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
  - ◇平成22年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
  - ◇平成22年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算(第2号)
  - ◇平成22年度柏原市一般会計補正予算(第7号)
- 以上、原案可決**
- ◇選挙管理委員及び補充員の選挙について
- (委員) 辻野秀男氏、谷野閣保氏、上村哲生氏、東部光伸氏  
(補充員) 至田義之氏、柏本安弘氏、安尾紗代子氏、安田恭三氏 **当選**

## 編集後記

今号は、昨年11月に開会しました第4回定例会の個人質疑・質問を掲載しております。個人質問制は、議員の独自性を発揮できる長所があり、記事をご覧いただければ、各議員の市政に対する情熱が伝わるかと思えます。また、各議員がどのような点に着目し、取り組んでいるのかをご理解いただけたらと思います。

### 編集委員

◎山下亜綾子 ○岸野友美子  
 山本 真見 ○田中 秀昭  
 濱浦 佳子 ○奥山 渉  
 計盛佐登子

◎は委員長 ○は副委員長

## 柏原市議会の会議録を

## ホームページで閲覧できます

柏原市議会のホームページでは、市議会会議録や市議会の情報等をご覧になれます。

柏原市議会

検索

柏原市議会ホームページアドレス

<http://www.city.kashiwara.osaka.jp/gikai/>